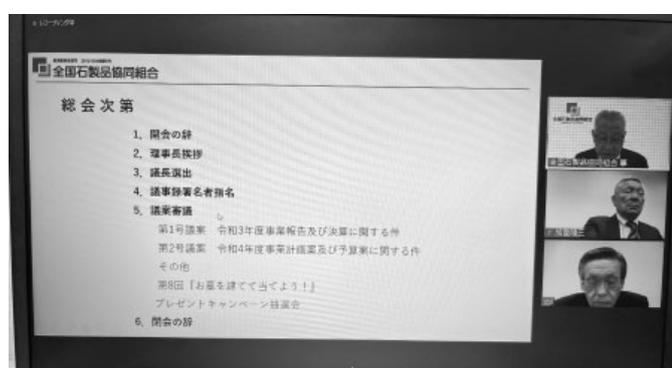




経済産業省公認

## 全石協 news

◎第10回通常総会を6月20日、オンライン開催しました。  
今年度は、郵便局内での「お墓の相談会」を事業化していきます！



全国石製品協同組合は6月20日、第10回通常総会を新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、オンラインで開催しました(左はそのようす)。

総会の冒頭、加登理事長は次のように挨拶しました。

「コロナ禍のトンネルはまだまだ抜けておらず、石材業界にとって厳しい時期は続きます

が、いまが踏ん張りどころだと思います。もし各石材店でお困りのことがあれば、何なりとおっしゃっていただきたい。組合で力になれることがあれば、行なって参りたいと思っています。年会費の値上げについては、決断するまでにとっても悩みましたが、多くの組合員にご理解いただけたと思っています。設立当初の目的の一つである『石材業界と中央省庁とのパイプづくり』を、決意を新たに邁進して参ります」

昨年度は、お墓の引越し検索ポータルサイトを見直し、新たにお墓の検索サイト『みんなのお墓』を開設しました。また一般消費者を対象に墓石や供養に関するアンケート調査(インターネット)を3回実施しました。保証書や保証シールの発行、『お墓を建てて当てよう!』プレゼントキャンペーンの実施、機関紙『全石協 news』のFAXによる一斉配信も開始しました。

今年度は昨年度の事業に加えて、消費者向けお墓の啓発用冊子の製作、本年11月29日(火)には「石匠位認定試験」をWEBシステムを利用して実施します。また、全国の郵便局内ロビーにおいて「お墓の相談会」を開催していきます。郵便局内ロビーにチラシやパンフレットを置くこともできます。組合員の新規顧客獲得手段として事業化し、新たにイベント用のロゴ入り敷布やタペストリー、ノボリなども企画立案していきます。

なお、総会後には第8回『お墓を建てて当てよう!』プレゼントキャンペーンの抽選会を実施しました。今回は395人の応募があり、JCBギフトカード10万円分=1名、JCBギフトカード3万円分=3名、QUOカード2,000円分=50名が当選しました。

## ◎ 11月29日（火）、「石匠位認定試験」をWEBシステムを利用して実施します！

コロナ禍により開催できなかった「石匠位認定試験」を、今年はWEBシステムを利用して11月29日（火）に実施します。詳細は下記のとおりです。

### 〈石匠位認定試験の概要〉

石匠位は、経済産業省公認団体である「全国石製品協同組合」が認定する制度です。業界発展のために必要な優れた技術、知識を持つ優秀な方のみに資格が与えられます。資格をお持ちでない方は、ぜひ受験ください。お申込み、お問い合わせは事務局までお願いします。

#### ○ 受験資格

- (1) 技能検定1級あるいは特級を上回る技能実務経験を有する法人の役付取締役、あるいは個人企業の経営代表者であり、いずれも経営実務経験が8年以上であり、かつ年齢が満30歳以上のもの。
- (2) 石材及び石材製品、それにかかわる法律などの多岐にわたり知識が豊富であり、石材加工及び石種全般の知識のあるもの。
- (3) 現在及び過去において自作製品、もしくは、自社製品が石匠に値すること（実証写真必要）。
- (4) 全国石製品協同組合に所属する組合員であるもの。

○ 受験費用：受講料 50,000円

○ 受験内容：4講義受講、小論文・面接

○ 受験場所：オンライン（Zoom）

○ 募集期間：令和4年8月1日（月）～令和4年10月31日（月）

○ 受験日時：令和4年11月29日（火）9時30分～17時（Zoom）

○ 認定料：71,000円（石匠位認定店パネル代含む）

## ◎ 第9回『お墓を建てて当てよう！』プレゼントキャンペーン開始！

来年  
5月31日(水)  
到着分まで



第9回『お墓を建てて当てよう！』プレゼントキャンペーンは、6月1日からスタートしています。

賞品はこれまで同様に、JCBギフトカード10万円分が1名様、JCBギフトカード3万円分が3名様、QUOカード2,000円分が50名様となります。来年5月31日（水）到着分までとなりますので、ぜひご活用ください。

なお、ご応募できるお客様は、全石協発行の保証書をお持ちの方となりますので、ご注意ください。詳細は事務局までお問い合わせください。

## ◎コロナ禍における「お墓参り」の現状についてアンケート調査を2年連続で実施

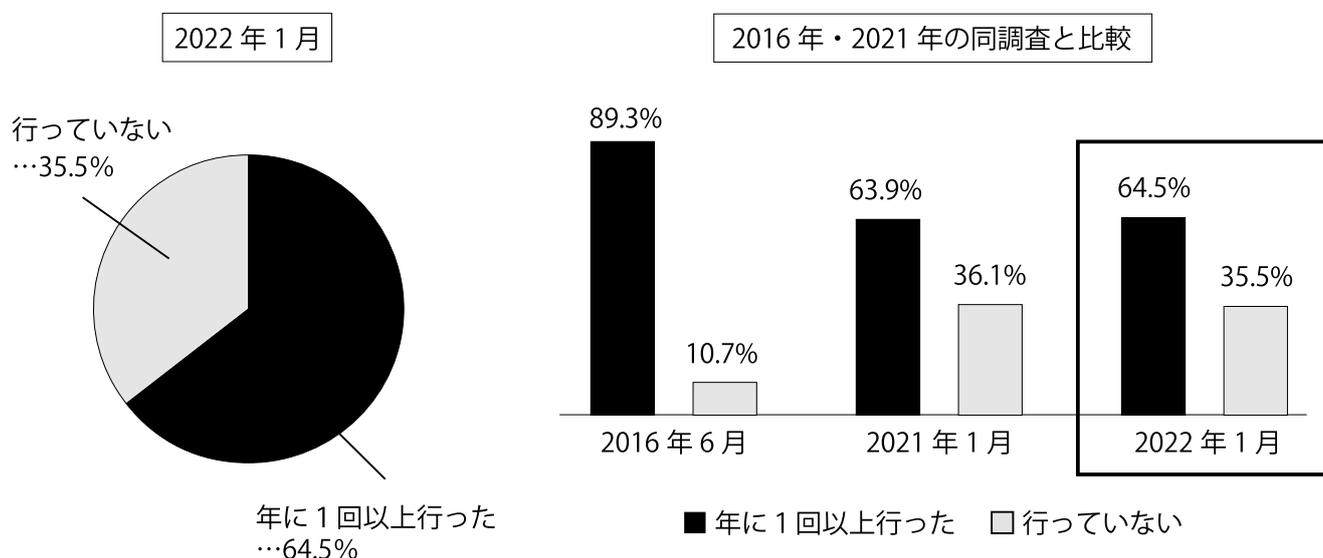
【調査対象】全国 お墓を持っている人。40歳代以上、男女

【調査期間】2022年1月13日～2022年1月31日 【調査方法】インターネット調査

【有効サンプル数】1,471名

- ▷この1年間で“年に1回以上お墓参りへ行った”人が64.5%、“行っていない”人は35.5%。
- ▷2016年6月に調査した「お墓参りに関するアンケート」と比較し、この1年間で“お墓参りへ1回以上行った”人は24.8ポイント減少し、64.5%となった。
- ▷「コロナ禍のお墓参りについての考え方」については、65.7%の人が「コロナ対策をしてお墓参りへ行くべき」と答えており、「コロナ禍なので行くべきでない(16.8%)」を大きく上回っている。昨年と比較すると、「コロナ対策をしてお墓参りへ行くべき」と回答した人の割合は4.7ポイント上昇しており、コロナ禍においてもこの1年で意識の変化が窺える。

### Q、過去1年間でお墓参りへ何回行きましたか？



「過去1年間でお墓参りへ何回行ったか」について聞いたところ、「年に1回以上行った」と回答した人が64.5%、「行っていない」と回答した人は35.5%という結果となった。昨年の調査では「年に1回以上行った」人の割合が63.9%であり、僅かであるが0.6ポイント増加している。また2016年の「お墓参りに関するアンケート調査」で「年に1回以上お墓参りへ行った」と回答した人の割合89.3%と比較すると24.8ポイント減少している。

また、2016年の調査では、「年に2回行った(25.6%)」という回答が最も多かったのに対し、今回の調査では、「行っていない(35.5%)」が最も多く、次いで「年1回(25.6%)」となり、お墓参りへ行く回数も減っていることがわかった。

回数	2016年6月 <sup>①</sup>		2021年1月		2022年1月 <sup>②</sup>		対比(②-①)
毎月	63	6.2%	79	3.6%	50	3.4%	-2.8ポイント
年5～11回	99	9.7%	129	5.9%	69	4.7%	-5.0ポイント
年4回	102	10.0%	128	5.9%	72	4.9%	-5.1ポイント
年3回	156	15.2%	186	8.6%	135	9.1%	-6.1ポイント
年2回	262	25.6%	383	17.6%	249	16.8%	-8.7ポイント
年1回	232	22.7%	484	22.3%	378	25.6%	2.9ポイント
行っていない	110	10.7%	785	36.1%	525	35.5%	24.8ポイント
計	1,024人		2,174人		1,478人		

お墓参りに「行っていない」と回答した 525 人に対し、行かなかった理由を聞いたところ、半数弱の 252 人が「コロナ禍だから」と回答し、最も多い結果となっている。次いで、「お墓が遠い」、「元々行かない」、「忙しいから」が続く。

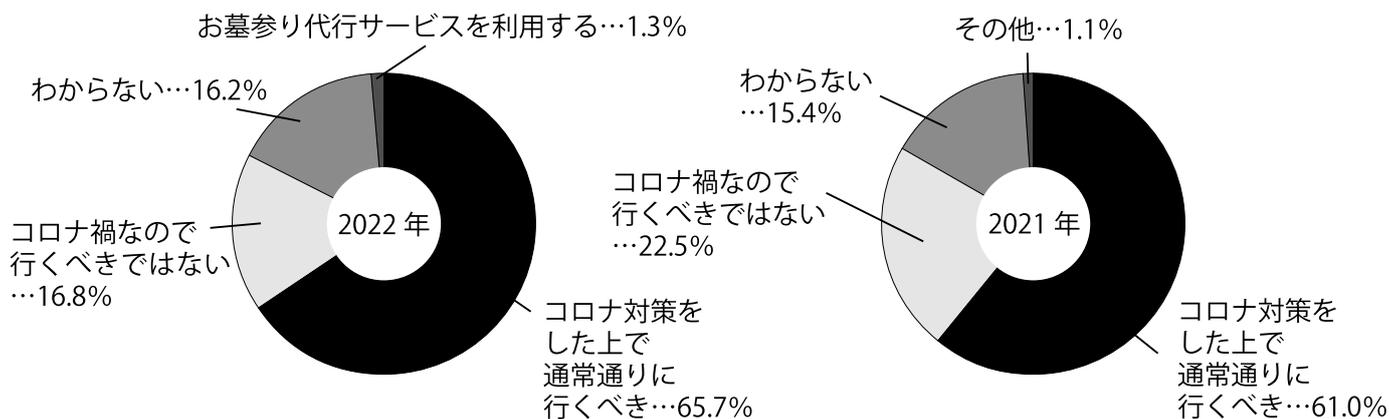
お墓参りに行かなかった理由を「コロナ禍だから」と回答した人の割合を、昨年の調査と比較したところ、2021 年が 53.6% であったのに対し、今回は 48.0% と 5.6 ポイント減少している。

◎ お墓参りへ“行かなかった”と回答した人の理由（左が 2022 年、右が 2021 年）

順位	理由	人数	構成比
1 位	コロナ禍だから	252	48.0%
2 位	お墓が遠い	109	20.8%
3 位	元々行かない	78	14.9%
4 位	忙しいから	41	7.8%
5 位	その他	26	5.0%
6 位	病気のため	8	1.5%
7 位	お骨が入っていない	5	1.0%
8 位	宗教上の理由	3	0.6%
9 位	代行サービス	3	0.6%
計		525	100.0%

順位	理由	人数	構成比
1 位	コロナ禍だから	421	53.6%
2 位	元々行かない	133	16.9%
3 位	お墓が遠い	129	16.4%
4 位	その他	50	6.4%
5 位	忙しいから	50	6.4%
6 位	代行サービス	2	0.3%
計		785	100.0%

Q、コロナ禍における“お墓参り”の必要性についてのお考えをお答えください。



「コロナ禍における“お墓参り”の必要性」について聞いたところ、65.7%の人が、「コロナ対策をした上で通常通りに行くべき」と答えており、「コロナ禍なので行くべきではない（16.8%）」を大きく上回る結果となった。また昨年調査と比較して「コロナ対策をした上で通常通りに行くべき」と回答した人の割合は 4.7 ポイント増え、「コロナ禍なので行くべきではない」と回答した人の割合は 5.7 ポイント減少した。コロナ禍での意識の変化が捉えられる結果となった。

《まとめ》

アンケート調査によると、この 1 年間に 1 回以上お墓参りへ行った人の割合は、2016 年と比較して 24.8 ポイント減少、2021 年と比較して 0.6 ポイント増加という結果となった。これは、2020 年から続くコロナ禍において、不要不急の外出を控える意識が高まっているため、お盆や年末年始に帰省する人が減ったことも大きく影響していると考えられる。ただし、コロナ禍においても、「コロナ対策をした上でお墓参りに行くべき」と回答した人の割合が、2021 年調査と比較して 4.7 ポイント増加し、「行くべきではない」と回答した人の割合が 5.7 ポイント減少していることは、国民がコロナ禍の中でも感染対策を行ないながら自らの生活スタンスを確立しつつあるのではないかと推測しており、そのベースには、お墓参りの必要性を感じ、日本人の供養を習慣的に大切にしている意識があると考えられる。またお墓参りは屋外で密になりにくいという安心感に加え、閉塞感のある社会環境において先祖供養や墓参をすることが、心の拠り所や精神的な支えになるといった側面があるのではないかとと思われる。

今後は、お墓参りだけでなく、コロナ禍における供養やお墓の必要性や関わり方などについて、消費者の動向を深掘りし、調査報告していく予定です。全石協は、今後も、個人や家族のライフスタイルに対応した多様なお墓のニーズに応えられるよう、供養文化や正確な墓地・墓石情報の提供に努めてまいります。

## 会員各社をご紹介します！！

### ◎(有)石のいがや (大阪府豊中市) 創業年：1961年

代表者：川合隼人 (1980年生まれ／3代目) 社長歴：5年

- ・趣味：音楽・サッカー
- ・尊敬する人物：まだいません (これから探します)
- ・好きな芸能人：OASIS
- ・最後の晚餐で食べたいもの：塩タン

#### ◆会社のモットー：

行動あるのみ。遠慮はしない。

#### ◆自社の特長 (得意分野)：

はじめてお墓をご建立されるお客様目線の資料を作成する事を心がけています。区画の大きさや石碑サイズにとらわれず、ベストな加工の指示とデザインで狭い区画に引越しされてもお参りし易いご提案をしております。

#### ◆最近の状況：

新規建立の問い合わせが多い。弊社では特にデザイン墓石の問い合わせが多い。

#### ◆同業者へ応援メッセージ：

これから夏場の現場は大変ですが、お互い頑張りましょう。



川合代表

### ◎(株)北陸石産 (石川県金沢市) 創業年：1983年

代表者：松田恒一 (1974年生まれ／2代目) 社長歴：20年

- ・趣味：食べ歩き
- ・尊敬する人物：スティーブ・ジョブス
- ・好きな芸能人：エイベックス 松浦会長
- ・最後の晚餐で食べたいもの：回らない寿司

#### ◆会社のモットー：

お施主様のことを1番に考えて行動すること。

#### ◆自社の特長 (得意分野)：

元卸問屋の強みを生かして、永代まで供養出来る高品質のお墓を、徹底的な低価格で御提案しております。

#### ◆最近の状況：

墓石工事の受注は凄く順調です。当社は墓石工事がメインですが、最近建築工事も始め、高級飲食店の石工事をさせて頂きました。北陸は冬に雪が降るので、冬場の仕事として建築も始めました。

#### ◆同業者へ応援メッセージ：

石川県の石材店はどこも忙しいみたいなので、熱中症やお体に気をつけて夏を乗り切りましょう！！



松田代表

## 募集します！！

お墓や供養について、どんなことを知りたいですか？ 一般向けアンケートの質問を募集しています。



経済産業省公認 20121004情第5号

全国石製品協同組合

お問い合わせ等は、☎ 03-5733-3776

〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目9番14号5F  
FAX：03-5733-3778 E-mai：info@zenseki.or.jp

<http://zenseki.or.jp/>